

「E-UNIT[®]」製作手順書

(スーパーE-ユニット ERS-タイプ)

ナカダ産業株式会社

静岡県島田市志戸呂 880-3 TEL.0547-45-3141

1) 数量確認



製作前の袋材を仮置きし、数量確認を行ってください。

2) 袋装着



型枠に保護シートを先に装着し、その後に袋材を装着します。
袋材の末端が型枠の一番下に付くまで引っ張ってください。
※ネット装着後、袋材と型枠の隙間がないことを確認してください。

3) 中詰め



バックホウ等を用いて中詰めを行います。

中詰め材の目安は以下の通りです。

| | | | | | | |
|----|---|---------------------|------------------|---|---------------------|-------------|
| 2t | = | 1.6t/m ³ | (通常碎石の空隙を考慮した密度) | × | 1.25 m ³ | (型枠のすりきり一杯) |
| 4t | = | 1.6t/m ³ | (通常碎石の空隙を考慮した密度) | × | 2.50 m ³ | (型枠のすりきり一杯) |
| 6t | = | 1.6t/m ³ | (通常碎石の空隙を考慮した密度) | × | 3.75 m ³ | (型枠のすりきり一杯) |
| 8t | = | 1.6t/m ³ | (通常碎石の空隙を考慮した密度) | × | 5.00 m ³ | (型枠のすりきり一杯) |

4) 口縛り
・仮吊り



白紐の目印より、吊りロープを引き出し、仮吊りを行い、ロープ、網地の長さを揃えます。
吊りロープの吊り本数は1~4t : 6点吊り、6,8t : 8点吊り
地切りまで袋体を吊上げないようにしてください。
※目印の紐の位置のロープを引き出してください。

・引絞り



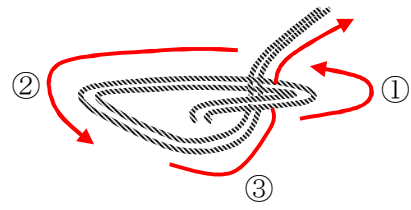
白色のテープの付いた口縛りロープを引絞ります。

・口縛り



引絞ったロープとテープの付いていないロープを結びます。

・ 余りロープの処理



ロープの巻き付け方

余りロープは吊りロープに巻きつけるように縛ります。
※数周巻きつけたところで、ロープを2重に折り返すと効率よく巻き付けられます。

・ 端末処理



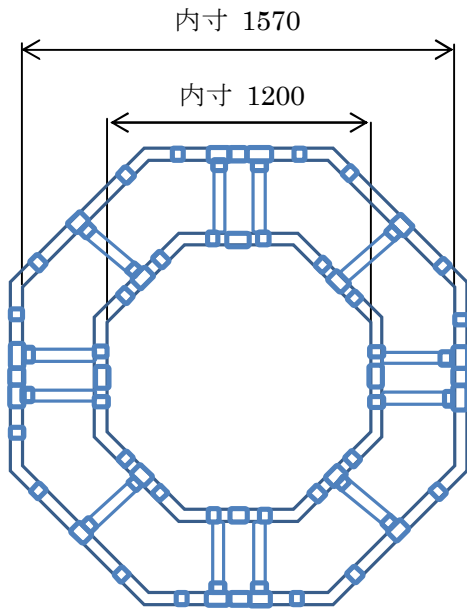
巻き付けたロープを網に通し、吊りロープに巻き付け吊りロープをまとめます。
※本作業は余りロープによる事故を防止するもので、推奨作業です。

5) 仮置き

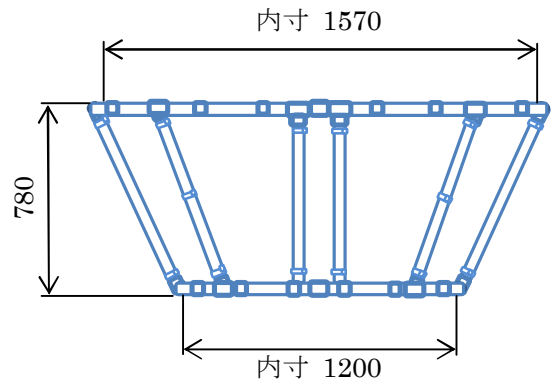


中詰めの終わった袋材を仮置きします。
所定の場所へ運搬、もしくはクレーン等で吊り上げ布設します。

袋材の計量製作枠図面



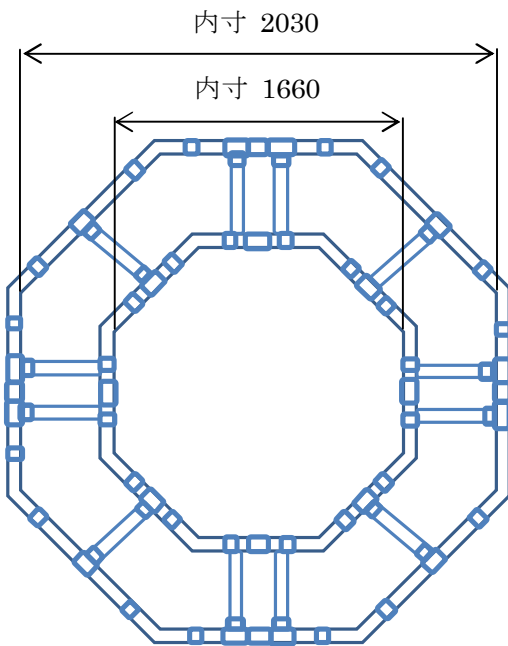
正面図



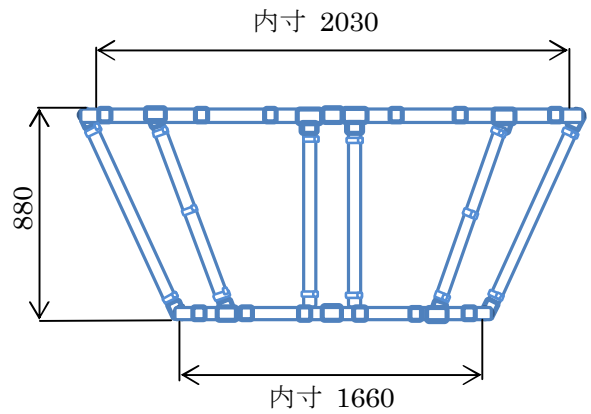
側面図

単位：mm

a) 1t・2t 用型枠



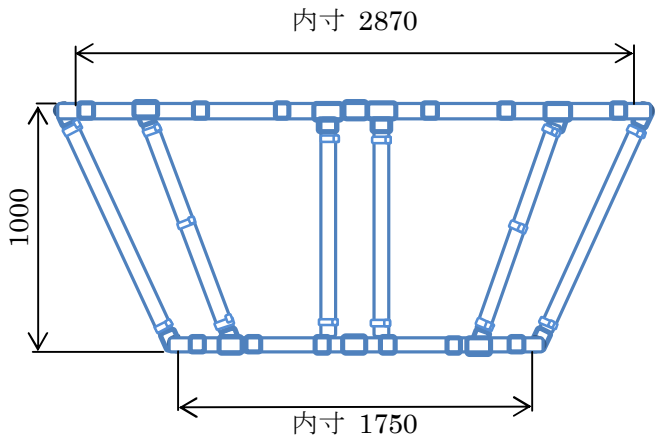
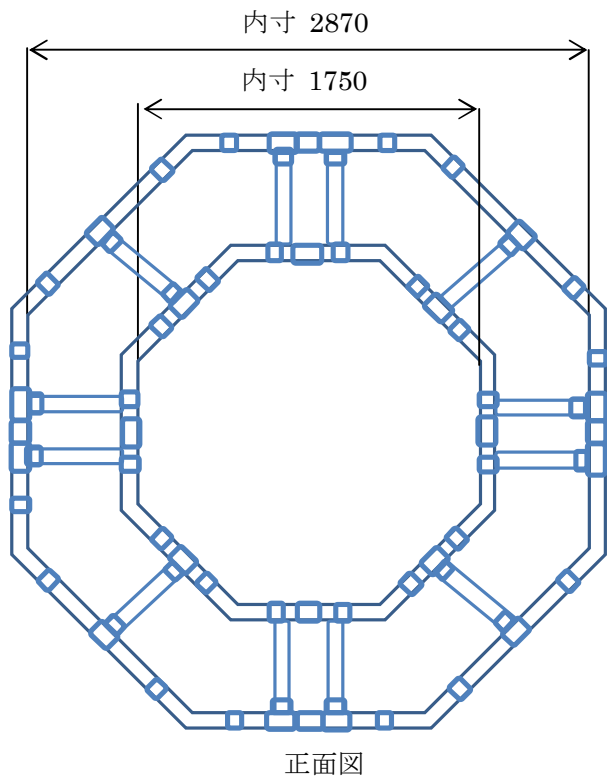
正面図



側面図

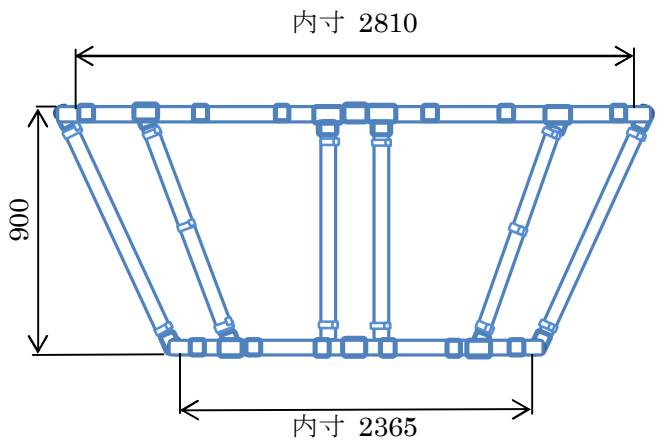
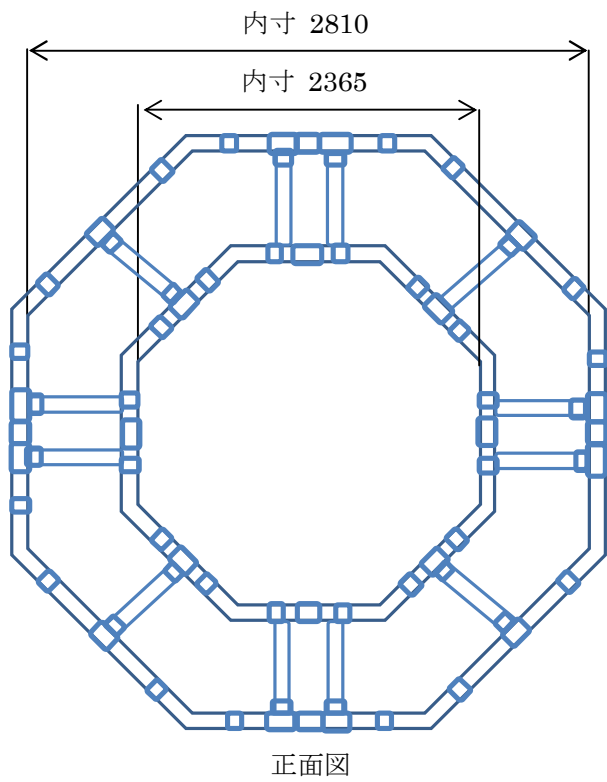
単位：mm

b) 3t・4t 用型枠



单位：mm

c) 6t 用型枠



单位：mm

d) 8t 用型枠

※都合により型枠が貸し出しできない場合があります。
(コンパネで型枠を製作した場合の使用例です。)
型枠につきましては、別途図面を参照して下さい。



①コンパネ+単管タイプで枠組みします。



②保護シートを装着してください。

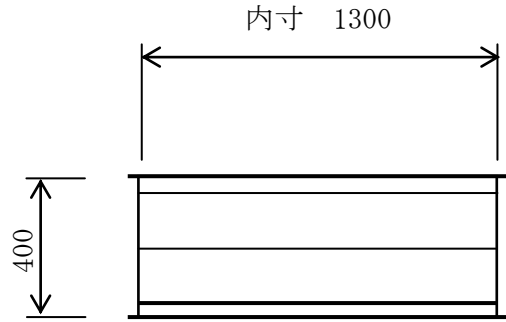
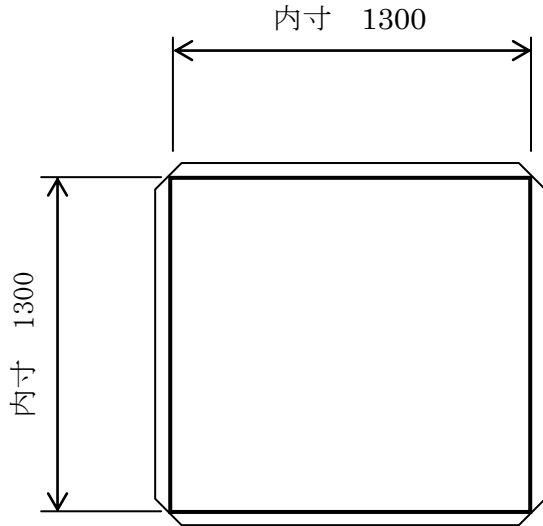


③最後にE-ユニットを設置してください。

※設置後は八角形型枠と同様です。
前ページをご参照ください。

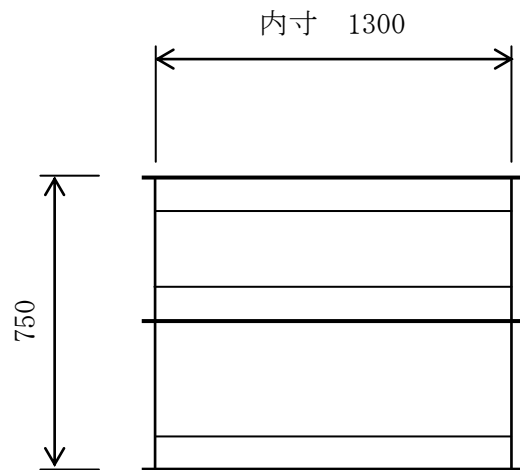
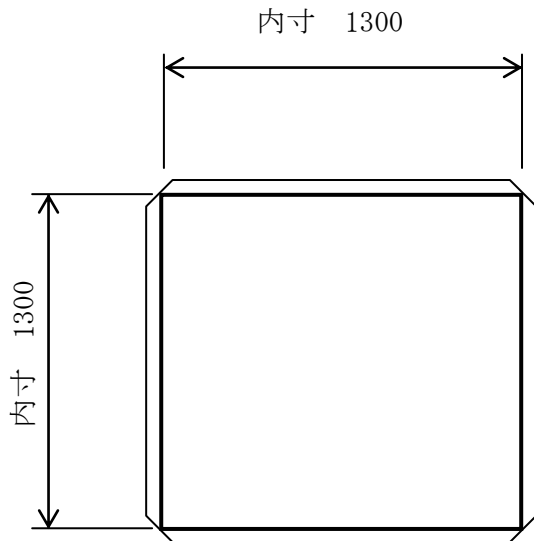
袋材の計量製作枠図面 (1t・2t)

【ERS-1t】



単位：mm

【ERS-2t】



単位：mm